

**マンガの画材
アイシースクリーン展**



アイシースクリーン展チラシ



まんがを描くための道具「画材」にはペンやインク、原稿用紙など様々なものがありますがその一つ、スクリーントーン（トーン）に注目した展覧会です。

スクリーントーンは、いろんな大きさの水玉模様や線、模様などを印刷した半透明のシール状のシートです。イラストなどに貼り付けることで、手描きでは難しい表現を可能にできました。このトーンの代表ブランドが「アイシースクリーン」で、1971年より半世紀にわたって開発・発売され続けています。

企画展では、トーンの歴史や、トーンのブランド「アイシー」の50年の歴史、アイシースクリーンができるまでを紹介するとともに、トーンを使った原画を、使用したトーンと一緒に展示します。また、発売50周年を祝ってまんが家から寄せられたイラストも展示します。

まんが家たちがアイシースクリーンを使って表現した洋服の模様や影、背景描写や画面全体のムードに注目してみてください。この画材がまんが表現に果たしてきた大切な役割を紹介いたします。

期 間 ● 2023年7月15日（土）～8月27日（日）
9:00～18:00
月曜休館（ただし7月17日（月・祝）は開館）

観 覧 料 ● 常設展示の観覧料でご覧になれます

主 催 ● 公益財団法人高知市文化振興事業団 横山隆一記念まんが館

共 催 ● 株式会社G-Top

企画協力 ● 明治大学 米沢嘉博記念図書館

後 援 ● 高知新聞社、RKC高知放送、KUTVテレビ高知、KSSさんさんテレビ、KCB高知ケーブルテレビ、エフエム高知、朝日新聞高知総局、毎日新聞高知支局、読売新聞高知支局

高知市文化プラザかるぼーと
リニューアルオープン記念事業

「竜とそばかすの姫」展 ～高知への遺産～

期 間 ● 2023年4月1日(土)～5月14日(日)
場 所 ● 横山隆一記念まんが館企画展示室・かるぼーと市民ギャラリー第3展示室

1年間の工事休館を経ての再開にふさわしい展覧会として、高知が舞台となった細田守監督のアニメーション映画をテーマとした「竜とそばかすの姫」展を企画し、アニメーション制作会社・スタジオ地図の皆様の協力を得て開催が実現しました。

この展覧会のテーマは二つ。「この映画(アニメーション)はどうやって作られたのか・映画ができるまで」と、「この映画が高知の人たちにどんな影響を与えたのか検証したい」でした。

県内各ロケ地の観光協会の皆様他に聞かせていただいたお話に、展示を観た皆様のコメントを加えた「交流板」の作成、映像データを紙に再現するという難題に応えてくれた印刷会社・展示物制作会社の皆様など多くの協力でできた展覧会となりました。

アニメーション映画がくまなく

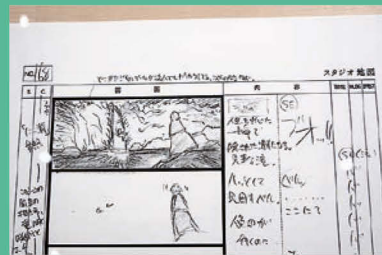
現実世界とバーチャル空間・メタバースの両方を舞台とするこの映画で、二つの世界は制作過程から手法が違っていったこと、登場するキャラクターをデザインするクリエイターが何人もいて、それぞれが全く違う画風であること、これもまた違う作風の3者が手掛けたバーチャル空間「U」の背景美術と、現実パロトの写真を基にしたリアルさを追求した背景美術を手掛けたこと、主人公のドレスデザインを手法の違うデザイナー二人がそれぞれ手掛けたこと、音楽を含め数多くのクリエイターが一つの作品に集結して創られていたこと等を知りました。



そして映画の流れの全てを決める絵コンテは細田監督の直筆で、これを読めば映画を観たのと同じ体験ができると言えるほど綿密に描かれ、さらに細かい指示が1カットごとにびっしり書き込まれていて、ファンの方たちの目をくぎ付けにしています。



衣装デザイン



絵コンテ

現代版「美女と野獣」・歌の力

この映画を作るにいたった細田監督の思いにも焦点をあてました。

ディズニー映画「美女と野獣」のような作品をいつか作りたいと思っていたこと、ミュージカル映画を作ってみたいと思ったことなど、今回の作品が企画されるにいたった原点が作品の中でどのように表現されたのか、映画の場面を追って紹介しました。



高知への遺産

現実世界のシーン・高知の場面は、高知県観光

コンベンション協会が提供した写真を基に背景美術が作画されたということで、コンベンション協会から同写真を提供していただき、写真と背景美術、実際の映画の場面写真を並べて観ていただきました。写真と絵の区別がつかないほどのリアルさは観る人を驚かせました。また映画上映に併せて県内で作られた関連商品やノベルティグッズや、地元の関係者コメントも紹介しました。



アルミフレームが写真です



来場者のコメントいっぱいになった交流板

映像展示

映像作品はやはり映像で展示したい、ということ、(U)の世界2種と「現実世界」の風景を大寫しのプロジェクト展示で観ていただくコーナーを作りました。



映像展示

今回の展覧会では高知県内の多くの来場者から、映画に取り上げられたことで、自分たちの普通の暮らしの風景が美しいことを改めて認識させてもらったことへの感謝の言葉が寄せられました。また、県外や海外からもこの展覧会を観るために足を運んでくれた細田ファンの方がいらっしゃいました。

行事案内
INFORMATION

第19回
まんがの日
記念

作品募集
4コマまんが大賞

「フクちゃん」を代表作とする横山隆一が、4コマまんがの名手であったことや、ストーリーまんがが全盛の時代に起承転結を基本とする4コマまんがの良さを見直していこうという趣旨のもと、故やなせたかしさんのご支援をいただき2005年に始まったこの賞も、今回で19回目となります。毎回全国から多くの方々にご応募いただいております。審査は高知出身のまんが家、矢野徳さん、くさか里樹さんが務めます。みなさんの力作をごしごし応募ください。

部 門	一般部門 (中学生以上)・ジュニア部門 (小学生以下) *プロ・アマ不問
応募規定	・白黒またはカラーの4コマまんが(手描き生原稿) ・用紙: B4判(縦25.7cm×横36.4cm)の市販のケント紙、画用紙、まんが用原稿用紙など ・作品: 縦32cm×横10cmの「縦4コマ」形式 ・自作の未発表作品に限る ・1人につき3点以内 ・デジタル作画は不可 *詳細はまんが館ホームページをご覧ください。
締 切	9月5日(火) 消印有効
発 表	10月下旬 まんが館ホームページ・館報「FUKU-FUKU」等で発表
表 彰 式	11月4日(土)、5日(日)の「まんさい」内で実施予定

《賞金・記念品》

賞(点数)	一般部門	ジュニア部門
フクちゃん大賞(1点)	賞状・賞金50万円	賞状・図書カード2万円
高知市長賞(1点)	賞状・賞金10万円	賞状・図書カード1万円
やなせ寛賞(1点)	賞状・賞金10万円	賞状・図書カード1万円
よさこい賞(3点)	賞状・賞金各5万円	賞状・図書カード各5千円
学 校 賞(2校)	-	賞状・トロフィー

応募・お問い合わせ先

〒781-0952 高知市九反田2-1
高知市文化プラザかるぽーと内 横山隆一記念まんが館
TEL: 088-8883-5020
FAX: 088-883-5049
URL: <https://www.ktoa.jp/mangakan/>

行事報告
REPORT

行事案内
INFORMATION

**「まんさい-
こうちまんが
フェスティバル2023」**

まんさい

こまんさい2023
&

がデザインしたペーパークラフトの台紙を、5日(日)開催の小野さんのライブチケットをお持ちの方にプレゼントする企画を実施したところ、100名以上の県外の方々にブースを訪れていただきました。これまで以上に多くの皆さんに「まんさい」や高知のまんが文化をPRできたのであれば幸いです。

「20回」の節目となる、高知市のまんがイベント「まんさい-こうちまんがフェスティバル」は、11月4日(土)、5日(日)に高知市文化プラザかるぽーとで開催予定です。昨年度の「19・5回」のシンポジウムで話し合われた今後のまんさい像を踏まえ、20回を盛り上げる企画が実行委員会で進行中です。

今回は4年ぶりとなる実地での開催です。ぜひ会場でお会いしましょう。



大好評をいただいた小野大輔さんデザインの台紙

まんがと私



一般社団法人日高村観光協会
戸梶 将行

「アニメ映画はまんがとともに楽しむ」

2021年に公開された細田守監督のアニメ映画「竜とそばかすの姫」は仁淀川地域が舞台のモデルとなり、日高村観光協会が広報担当を務める私は、地域連携プロジェクト活動に関わらせていただきました。私が「監督の次回作で高知県仁淀川エリアが候補地になっているらしい」と聞いたのは2019年のことで、監督の作品のファンだった私はとてもワクワクしたことを覚えています。完成した作品をはじめ見た時、忠実に再現された地元の風景やストーリーはもちろん、音楽の素晴らしさや壮大な世界観を大画面だからこそ感じられる迫力。自宅のテレビやスマートフォンでは味わえない感動がありました。

近年特に人気を集めるアニメ映画ですが、まんがとは密接な関係があります。毎年劇場版が公開される定番作品の名探偵コナンやドラえもん、テレビアニメとしても人気な鬼滅の刃など、まんがからアニメ、映画へと発展させていくことが多いからです。また、最近ではアニメや映画から作品に入り、後から原作まんがを購入する人も多いようです。

まんがにはアニメや映画のような迫力こそ少ないものの、少ない情報で想像力が掻き立てられるという楽しみがあります。同じ作品でもアニメ版とまんが版にはそれぞれ別々の楽しみ方があります。またアニメ・まんががどちらのファンかで論争になることもしばしば。私個人としては、アニメ・まんがを併せて楽しむことでより一層楽しむことができると感じます。映像が溢れる現代だからこそ、絵と文字だけで表現されたまんがの世界をぜひ楽しんでみてください。

行事案内
INFORMATION

スパーガ
フラク
タ
超我楽多展

まんが館にはたくさんの資料が
収蔵されています。貴重な「もの」
から扱いに困る「もの」まであります。価値が
有るのか無いのかは立場や状況によって変
わりますが、そもそも価値とは何を基準に決
めるのでしょうか？ 企画展タイトルの「我
楽多」は「他人からみれば、一見ガラクタのよ
うでも本人にとってはかけがえのない宝物」
という横山隆一のお考え方からきています。

隆一は「もの」を捨てない人だったので、
沢山の「もの」が残されています。自分で集
めた「もの」、人がくれた「もの」、そして遺つ
た「もの」。

たくさん「もの」が集まればコレクションと
なり、博物館が出来ます。捨ててしまえば、ゴ
ミとなり忘れさられるでしょう。現実的には
残すことと捨てることは紙一重の行動です。

博物館の在り方が変わりつつある昨今、
みなさんにも私たち「もの」について向き合っ
てもらえればと思います。今回の企画展では、
様々な理由でまんが館に秘蔵されて
いるものにスポットを当ててみたいと思いま
す。

期間 ● 2023年10月7日(土)～11月26日(日)
場所 ● 横山隆一記念まんが館 企画展示室
時間 ● 9:00～18:00 ※最終入場は17:30まで
休館日 ● 毎週月曜日
入場料 ● 一般500円、前期・後期共通券800円、高校生以下無料
※横山隆一記念まんが館常設展示もご覧いただけます。
主催 ● 公益財団法人高知市文化振興事業団 横山隆一記念まんが館

行事案内
INFORMATION

先生注目!
教員のための博物館の日
in 横山隆一記念まんが館

「教員のための博物館の日」は、先生と
博物館の(心の?)距離を縮め、授業や学
習に役立ててもらおうきっかけづくりの
ために、平成20年に国立科学博物館で始
まった取り組みです。

今回、横山隆一記念まんが館では、まず
館に「来て・見て・知って」もらうことを目
的に、この事業を開催します。

常設展示の中で特に、隆一が立ち上げ
たアニメーション制作会社「おとぎプロ」
に注目して、アニメーションの制作過程
を解説し、実際にその作品を鑑賞します。

学習指導要領で重視されている「社会
に開かれた教育課程」の実現には、地域の
図書館や博物館、美術館、劇場、音楽堂等
の施設の活用を積極的に図り...とあり
ます。地域の施設を学習に活用するために、ご自身
が博物館を体験してみることから始めてみませんか? お気
軽にご参加ください。

日時 ● 2023年8月17日(木) 10:00～11:30
対象 ● 幼保・小・中・高・特別支援学校の教職員
※家族の同伴可、1組4名まで
お申し込み ● メール、電話、FAX

トピックス
TOPICS

2023夏休みまんが体験イベント
「めざせ!まんが職人」

コロナ禍以前開催していた夏休みの小学生対象イベント「め
ざせ!まんが職人」が復活! 6つのコースで夏休みの子どもた
ちと工作を行います。まんがの発想やユーモアを取り入れた、
世界に一つだけの作品が生まれることでしょう。

タイトル	開催日	講師
まんが動物園をつくろう!	7月29日(土)	岩神義宏先生
ぱんくつアパニマルをつくろう!	7月30日(日)	おかもとあつし先生
まんが風鈴をつくろう!	8月8日(火)	小笠原まさ先生
まんが石けんをつくろう!	8月9日(水)	高橋昌美先生
まんが水族館をつくろう!	8月18日(金)	山北三砂子先生
まんが万華鏡をつくろう!	8月19日(土)	中西奈穂子先生

トピックス
TOPICS

常設展示に新コーナーができました

4階常設展示の廊下にテーマ展示コーナーを
作りました。こちらには企画展や時宜にちなんだ収
蔵品を展示していきます。先日開催した「竜とそば
かすの姫」展の期間中には、おとぎプロの貴重なアニ
メ資料を、その後はNHK連続テレ
ビ小説「らんまん」を受け、隆一が牧
野富太郎との出会いを話すインタ
ビュー記事の切り抜きや隆一の花
の絵画作品を展示しています。こ
れからまんが館にお越しになる際
は、こちらの新コーナーにも注目し
てください。



館のご案内

開館時間 9:00～18:00
休館日 毎週月曜日(祝日・振替休日の場合は開館)
年末年始(12月28日～1月4日)

常設展示観覧料
一般410円
団体(20名以上)320円・65歳以上200円・高校生以下無料
身体障害者手帳(1、2級)、療育手帳及び精神障害者保
健福祉手帳をお持ちの方とその介護者(1名)は200円

お問い合わせ先
〒781-9529 高知市九反田2-1
高知市文化プラザかるぼーと内
横山隆一記念まんが館
TEL:088-883-5029
FAX:088-883-5049
URL:https://www.kfca.jp/mangan/
E-mail:mangan@kfca.jp



横山隆一記念まんが館へは、
高知市文化プラザかるぼーと
3階の入口よりご入場ください。

新着図書(2023年4月～7月)

高知出身まんが家
『きんこん土佐日記』13巻 村岡マサヒロ
『ぬるめた』3巻 こかむむ
『怪獣自衛隊』11巻・12巻 井上淳哉
『デリシャスパーティ プリキユア』
上北ふたご

オススメピックアップ!
『ザッケン!』1～3巻
ブクブク(作画)、上村奈帆(原著)
『マンガ ポケ日和』
矢部太郎(著)、長谷川嘉哉(原案)
『童夢(TOTOMO THE COMPLETE WORKS)』
大友克洋
『戦争は女の顔をしていない』1～4巻
小梅けいと(作画)、スヴェトラナ・アレ
クシエーヴィチ(原作)、速水螺旋丸(監修)
『たまさんちのホゴイヌ』 tamtam

その他、続々入荷中!

フク
話
わ
うち

隆一には数年間
「ひげ隆時代」が
あった。マスク
生活の中、私も隆
一に倣って髭を
蓄えてみるこ
とにした。数カ月放置したらひよ
ろひよろと長い髭が仙人のよう
で面白かったが、マスクから飛
び出てきたので切り揃え、その
後更に数カ月髭面をやった。あ
る晩、無益と断じ一思いに落と
した。酔った勢いもあった。約
1年間の髭時代だった。落と
してみると顔の造形が変わって落
ち着かない。日に焼けていない
嫌に白い口周りも気味悪く、毎
朝剃るのも甚だ煩わしい。2度
目の「ひげ隆」は無かったよう
だが、よほどじっくりきたのだら
うか。(回改め二)